

会議の要旨（議事録）

会議の名称	鳥栖市社会教育委員会定例会		
開催日時	平成30年9月20日 15時	開催場所	市役所 2階第1会議室
出席者数	委員 13名 (欠席3名) 事務局 8名	傍聴人数	0人
議題	<p>(1) 平成29年度社会教育関係事業報告について</p> <p>(2) 平成30年度社会教育関係事業計画及び進捗状況について</p>		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度社会教育関係事業報告について（資料） ・平成30年度社会教育関係事業計画及び進捗状況について（資料） ・まちづくり推進センター活用ガイドブック 平成30年度版 		
所管課	(課名) 生涯学習課 (電話番号) 85-3694		

議 事 録

1. 開 会

○生涯学習課長司会進行

2. 教育長あいさつ

○生涯学習課長

- ・委員交代の報告
- ・職員自己紹介
- ・委員の欠席の報告

3. 議 事

委員長の退任により、委員長選出まで委員長選出まで生涯学習課長が議事進行を行う。

議題(1) 委員長、副委員長の選出

鳥栖市社会教育委員条例施行規則第3条により委員の互選により定めるとの規定により協議。委員から事務局一任の意見あり。事務局から委員長、副委員長の提案をし、全会一致によりこの案を承認。

委員長、副委員長からそれぞれあいさつをうける。

○議事進行(委員長)

- ・議事録署名人の選出

議題(2) 平成29年度社会教育関係事業報告について

— 各課各担当から説明 — 別紙資料

生涯学習課

市民協働推進課

【質疑、意見】 以下、○…委員 ●…事務局

○まちづくり推進センターの在り方について、公民館事業、老人センター事業、まちづくり推進事業はどうなっているのか。

●資料P2～4の事業報告にあるように、各まちづくり推進センターで種々の講座や教室を行っています。また、「まちづくり推進センター活用ガイドブック」に掲載しているように、高齢者向けの事業も行っているところです。

○老人センターでは、延べ11万人の利用があっているが、元の老人センターの利用者数は、把握しているのか。

●資料P14での説明、元の老人センターが分館になっているところがあります。

○麓老人センターは、以前はお風呂の利用が多かったが、現在はなくなったが他の事業を行って利用者の増加を図っています。

○図書館事業の移動図書について、車の老朽化に伴い買い替えをし、昨年9月までは、39か所をまわっていたが、今年1月からは、まちづくり推進センター(まちセン)を中心に回っているということだが、利用数の比較はできるのか。

●とりんす号での利用状況は、平成29年4月から9月までの月平均の利用者数は163人、貸出冊数は月平均1,421冊で、新規事業では、平成30年1月から3月までの実績では、利用者数は月平均77人、貸出冊数は月平均671冊です。
まちセンや保育所を中心に廻っていますが、認知不足があります。また、要望があればそちらに赴くスポットサービスも行っています。

○まちセンでの移動図書館の利用時間と、センターの教室等の終了時間が重ならないときがあるため、利用ができないと言われる。移動図書館の利用時間に工夫がいらす。
図書館の利用カードがないと言われるので、利用カードの作成の宣伝も足りないと思います。

○今までより冊数が少なくて選べなかったり、高齢者や障害のある人は、まちセンまで行けない人もいると思う。

●本のリクエストをされると、移動図書で持っていきます。定期的な巡回の日以外であれば、スポットサービスの利用はできます。

●家の軒先近くまでサービスをするのは難しいところがあります。ただ、今までより利用時間が延びてゆっくり本が選べますので、デメリット、メリットはそれぞれありますが、今後も工夫していきたいです。

○まちづくり、人づくりについて、家庭教育ではしつけを教え、地域教育では知恵を教え、学校教育では知識を教えると以前聞いたことがある。
まちづくり、人づくりについて、教育委員会ではどのようにとらえているのか。

●地域と学校が連携してできる場所は、進めていきたいと考えています。
家庭教育については、連携は難しくなっています。地域教育から家庭教育へつなげていけるよう地域教育力を高めていきたいと考えています。

○しつけを家庭でと言われるが、若いお母さん(保護者)たちの意識が昔と違うので難しいと思います。

○今年の成人式は、派手な格好の人はいたが、式はよかった。
式の途中で立ち上がる子はいたが、市の職員が制止に入り、要所に

市の職員が配置され、暴れる人がいなかった。

○「鳥栖良かここカルタ」はとてもいいので、かるた大会をされているのはとてもいいと思うし、もっと活用してほしい。

○子どもクラブでも「鳥栖良かここカルタ」でのかるた大会に取り組んでいるが、参加者があまり増えないので、もっと周知したい。

●「鳥栖良かここカルタ」について説明

○小学校低学年には「鳥栖良かここカルタ」は難しいかもしれない。教科「日本語」の低学年には、自分たちでカルタを作って鳥栖を知る授業がある。

○同和問題について、どのような問題があるのか。

●以前は、直接的に個人を差別する事例とかありましたが、最近では、心の差別が問題になっています。インターネットを利用して見えないところでの差別が起きています。

同和問題に関心がない人が、インターネット上でのデマの情報を見て、今まで持っていなかった差別の気持ちが生まれてきたりします。

国においてもまだ、部落差別はなくなっていないということから、平成28年に部落差別解消推進法を施行しています。皆さんに正しく認識してもらう必要があります。

○みんな心の中に差別の気持ち生まれやすい。障害者に対して差別されることがあります。まちセンでは、人権の教室を行っていますので、ぜひ参加してください。

議題(3)平成29年度社会教育関係事業計画について

— 各課各担当から説明 — 別紙資料

生涯学習課

市民協働推進課

【質疑、意見】

○勝尾城筑紫氏遺跡の整備について、福井県の一乗谷朝倉氏遺跡のように一部を復元して観光地化にするのか。今後どうするのか。

●勝尾城筑紫氏遺跡は、約230㎡あり全域を整備するのは難しく、葛籠城跡や筑紫氏館跡等主要なところを抽出し、順に整備する計画にしています。

勝尾城跡までは、案内板等を設置して登山の整備を行っています。国の史跡に指定されていますので、国の補助事業を活用して整備を行っています。

また、史跡に興味のある市民の方等に集ってもらい、ワークショップを行いアイデアを頂いています。

●小学校の児童には、教科「日本語」の中に鳥栖市のお城を知ろうという項目で、勝尾城筑紫氏遺跡の紹介をしています。

○とりごえ荘(栖の宿)が、社会教育研修場の役割を果たしているのか。キャンプはできるのか。

●中学校の部活の合宿や、少年野球チームが利用していると聞いております。利用料は有料ですが、減免での利用ができます。キャンプ場も整備されております。

○文部科学省の機構改革があり、生涯学習政策局の名前、社会福祉課の名前がなくなると聞く。

社会教育の名前がなくなり、社会教育委員の役割について、今後どうかかわっていくのか考えなければならないと思う。

○本日の議題につきましては、以上で終了します。
多くのご意見ありがとうございました。

4.閉会.